

2 特定14項目以外の新規事業及び重点事業の項目

No.	項目	事業内容	現状 (計画策定時)	進捗状況 (評価)	目標 (計画終了時)
			21年度	26年度	26年度
1	○放課後等デイサービスきらら (旧：児童デイサービスⅡ)	療育を支援する中高校生を対象に、放課後を利用して、日常生活における基本的動作の習得、集団生活に適應することができるよう、当該児童の身体及び精神の状況並びに当該児童が置かれている環境に応じて、適切な指導及び訓練を行う。	新設	A (延べ3,242人)	継続
2	◎放課後等デイサービスふらっと (旧：障害児放課後児童保育事業) (子ども課→福祉課)	障害をもつ児童が、放課後の時間を子どもらしく過ごせるような環境を整備する。	新設	A (延べ2,768人)	継続
3	◎子ども一人ひとりに応じたきめ細かな取り組み	学校訪問(計画訪問・要請訪問)により、授業改善の観点や方策等についての指導助言を行う。	継続	A	継続
4	◎子どもの心に響く道徳教育の充実	市の教育方針や指導の重点にあげ、学校全体としての取り組みを促すとともに、訪問指導の折に授業を改善・充実させるための指導助言を行う。	継続	A	継続
5	◎チャレンジウィーク	地域や自然の中で生徒が主体性を発揮しながら様々な体験活動を行うことによって、自分の将来について夢と希望と情熱を持ち自分なりの生き方を見つめられるようにする。	継続	A	継続
6	○そろばん講師派遣事業	そろばんを活用した学習の充実を図る。	実施	A	継続
7	◎公民館親子教室	親子を対象として料理、軽スポーツ教室等を実施する。	継続	A	継続
8	◎子どもゆめくらぶ	自然の中での活動を通して、仲間づくりや共同生活を体験させることを目的に、小学生を対象にキャンプ(スマイルキャンプ、カヌー体験)等を実施する。	実施	- (22年度より廃止)	
9	○関孝和先生顕彰 小学生珠算大会	関孝和先生の偉業をしのび業績を顕彰し、そろばん教育の普及と数学教育のレベルアップを図る。	継続 (88人)	A (79人)	継続
10	○放課後子ども教室	放課後、子どもが安心して活動できる場所を確保し、文化、むかしの遊び、地域交流等を通じて児童の健全育成を支援する。	実施	- (22年度より廃止)	
11	○子ども会育成事業	上毛かるた大会、ドッジボール大会等を開催し、子どもたちの連帯感・向上心の醸成を目指す。	実施	A	継続
12	○おもしろ科学教室	小中学生を対象に、身近な材料を使ったの実験・製作により「科学する心」を育む。	実施 (年3回)	A (年3回)	継続
13	○小学生囲碁・将棋教室	伝統的な娯楽に親しみ異学年の交流を図るため、囲碁・将棋連盟の協力により各小学校で開催する。	実施 (63回)	A (64回)	継続
14	○小中学校PTA連合会事業	児童生徒の幸福な成長を図り、健全なPTAの発展を促進し教育の振興を図ると同時に、家庭教育の向上に努める。	実施	A	継続
15	○青少年相談	電話や面接により、青少年の保護者や本人から悩みや困りごとの相談を受け、一番良い方法をいっしょに考え、専門機関の紹介も行う。	実施 H22(25件)	A (29件)	継続
16	◎図書館における学習機会や情報の提供	コンピュータによるネットワークを活用し、市立図書館と学校で連携を取り、子どもたちの読書習慣の育成を図る。読み語りグループを育成し、学校でも読み読みの機会を設けていく。	継続	A	継続

17	○発達障害支援事業	障害の特性の理解や支援方法など、教職員の理解と専門性の向上及び支援体制の構築、幼児児童への支援体制づくり及び保護者支援を行う。	実施	A	継続
18	◎乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業	生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問し、支援が必要な家庭に適切なサービスを提供する。	継続	A	継続
19	◎各種乳児健康診査	各時期（3か月・1歳・1歳6か月・2歳・3歳・5歳児）における定期健診を充実し、子どもの健康並びに保護者の子育てへの支援を行う。	継続	A	継続
20	◎新生児訪問	助産師と保健師が新生児のいる家庭に訪問し、子どもと保護者について支援する。	継続 (47%)	A (73.4%)	継続 (90%)
21	◎両親学級	父親のマタニティ体験、妊娠中の栄養、妊娠中の保健・生理、家族計画、沐浴、新生児の生理、赤ちゃんの育て方などをテーマとした教室を開催する。虐待やDVのない明るい家庭が築ける基礎作りを目指す。	継続 (17%)	A (32.3%)	継続 (20%)
22	◎性や性感染症予防に関する正しい知識の普及	「命の大切さ出前講座」では小学校低学年・高学年・中学校用の指導案を作成し、学校と連携しながら実施する。	継続 (講座16回)	B (講座10回)	拡充
23	◎歯科予防に関する正しい知識の普及	歯科健診等の事業と「健康な歯をつくろう出前講座」により、正しい知識を普及して、歯科予防の実効を上げていく。	継続 (講座16回)	A (講座21回)	拡充
24	◎ブックスタート事業	豊かな心身の発育のため、乳児期から本と親しませる、また読み聞かせを通じて親子のふれあいを深めることを目的として、3か月健診時にブックスタート券を渡す。ブックスタート券を持って、市立図書館に来館してもらい、図書館のスタッフが読み聞かせや読書の習慣について指導したり、相談にのったりしていく。この時に絵本をプレゼントする。	継続 (67%)	A (99.3%)	継続 (90%)
25	◎言葉の相談・指導	通級指導教室（言語）で就学前の幼児について、指導員が子担当、母担当に分かれ、言葉の相談・指導を行う。	継続 (34人)	A (71人)	拡充
26	◎障害児親子すこやか教室	障害を持った子どもや保護者を対象に、遊びを通じた専門職の指導を定期的に行う。保護者の交流・情報交換を行い、育児不安の軽減に努める。	継続	A	拡充
27	○5歳児健康診断事業	就学前の5歳児（5歳3か月児）を対象に、3歳児健康診断では発見されにくい発達障害を早期に発見し、早期の発達相談を実施し、事後相談体制を整える目的で実施する。	継続 (86.6%)	A (97.1%)	継続 (95%)
28	◎子育て支援センター連絡会議事業	平成17年度から「つどいの広場事業」により、障害児学童保育所の施設を利用し、つどいの広場を1か所開設した。子育て支援センター事業でも新たに保育園2か所に支援センターを開設し、両事業で計11施設ができる。これを機会にこの施設間で連絡会議を実施し、協力しながら、市全体の子育て家庭に呼びかけ、子育て中の親子が気軽につどい、交流する場、相談を受ける場をつくっていく。	実施 (年3回)	A H23～(年6回)	継続

*○新規事業、◎重点事業 *進捗状況（A：ほぼ100% B：75%程度 C：50%程度 D：25%程度 E：0%）